

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【公開番号】特開2012-163917(P2012-163917A)

【公開日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2011-26216(P2011-26216)

【国際特許分類】

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 9 C 1/00 6 2 0 Z

G 0 9 C 1/00 6 6 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

前記暗号処理システムは、

少なくとも基底ベクトル b_0, i ($i = 1, \dots, 1 + n_0, 1 + n_0 + 1, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0 + w_0, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0 + w_0 + z_0$) (n_0, u_0, w_0, z_0 は1以上の整数) を有する基底 B_0 と、

少なくとも基底ベクトル b^*_0, i ($i = 1, \dots, 1 + n_0, 1 + n_0 + 1, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0 + w_0, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0 + w_0 + z_0$) (n_0, u_0, w_0, z_0 は1以上の整数) を有する基底 B^*_0 と、

少なくとも基底ベクトル b_t, i ($i = 1, \dots, n_t, \dots, n_t + u_t, \dots, n_t + u_t + w_t, \dots, n_t + u_t + w_t + z_t$) (u_t, w_t, z_t は1以上の整数) を有する基底 B_t ($t = 1, \dots, L + 1$) と、

少なくとも基底ベクトル b^{*t}, i ($i = 1, \dots, n_t, \dots, n_t + u_t, \dots, n_t + u_t + w_t, \dots, n_t + u_t + w_t + z_t$) を有する基底 B^{*t} ($t = 1, \dots, L + 1$) と

を用いて暗号処理を行い、

前記復号要素生成部は、 $t = 0, \dots, L$ の各整数 t についての乱数 $d_{dec, t}$ ($i = 1, \dots, w_t$) に基づき、数2に示す復号要素 $k^{*t}_{L, dec}$ を生成し、

前記暗号化データ c_1 生成部は、 $t = 0, \dots, L$ の各整数 t についての乱数 t ($i = 1, \dots, z_t$) に基づき、数3に示す暗号化データ c_1 を生成する

ことを特徴とする請求項4に記載の暗号処理システム。

【数2】

$$k_{L, dec}^* := ((-s_{dec, 0}, 0^{u_0}, \Delta, \vec{\eta}_{dec, 0}, 0^{z_0})_{\mathbb{B}_0^*},$$

$$(s_{dec, t} \vec{e}_{t, 1} + \theta_{dec, t} \vec{v}_t, 0^{u_t}, \vec{\eta}_{dec, t}, 0^{z_t})_{\mathbb{B}_t^*} : t = 1, \dots, L)$$

【数3】

$$c_1 := ((\omega, 0^{u_0}, \zeta, 0^{w_0}, \vec{\phi}_0)_{\mathbb{B}_0}, (\omega \vec{x}_t, 0^{u_t}, 0^{w_t}, \vec{\phi}_t)_{\mathbb{B}_t} : t = 1, \dots, L)$$

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記委譲装置は、さらに、

$j' = 1, \dots, 2(L + 1)$ の各整数 j' について、第1下位ランダム化要素 $k^*_{L+1, r_a n, j'}$ を生成するとともに、 $t = L + 2, \dots, d$ (d は $L + 2$ 以上の整数) の各整数 t と、各整数 i について $= 1, \dots, n$ の各整数 i について、第2下位ランダム化要素 $k^*_{L+1, r_a n, (t, i)}$ を生成する下位ランダム化要素生成部であって、

前記述語情報 v_{L+1} と、前記復号鍵 $s k_L$ と、 $j = 1, \dots, 2L$ の各整数 j と $j' = 1, \dots, 2(L + 1)$ の各整数 j' とについての乱数 $r_a n, j', j$ と、 $j' = 1, \dots, 2(L + 1)$ の各整数 j' についての乱数 $r_a n, j'$ と、 $t = 0, \dots, L + 1$ の各整数 t と $i = 1, \dots, w_t$ の各整数 i とについての乱数 $r_a n, j', (t, i)$ とに基づき、数8に示す第1下位ランダム化要素 $k^*_{L+1, r_a n, (t, i)}$ を生成し、

前記述語情報 v_{L+1} と、前記復号鍵 $s k_L$ と、 $j = 1, \dots, 2L$ の各整数 j についての乱数 $r_a n, (t, i), j$ と、乱数 $r_a n, (t, i)$ と、乱数 $r_a n, (t, i)$ と、 $t = 0, \dots, L + 1$ の各整数 t と $i = 1, \dots, w_t$ の各整数 i とについての乱数 $r_a n, (t, i), (t, i)$ とに基づき、数9に示す第2下位ランダム化要素 $k^*_{L+1, r_a n, (t, i)}$ を生成する下位ランダム化要素生成部と、

$t = L + 2, \dots, d$ (d は $L + 2$ 以上の整数) の各整数 t と、各整数 i について $= 1, \dots, n$ の各整数 i について、下位委譲要素 $k^*_{L+1, d_e l, (t, i)}$ を生成する下位委譲要素生成部であって、前記述語情報 v_{L+1} と、前記復号鍵 $s k_L$ と、 $j = 1, \dots, 2L$ の各整数 j についての乱数 $d_e l, (t, i), j$ と、乱数 $d_e l, (t, i)$ と、乱数 $d_e l, (t, i)$ と、乱数 $d_e l, (t, i)$ と、 $t = 0, \dots, L + 1$ の各整数 t と $i = 1, \dots, w_t$ の各整数 i とについての乱数 $d_e l, (t, i)$ とに基づき、数10に示す下位委譲要素 $k^*_{L+1, d_e l, (t, i)}$ を生成する下位委譲要素生成部とを備え、

前記委譲鍵送信部は、前記下位復号要素生成部が生成した下位復号要素 $k^*_{L+1, d_e c}$ と、前記下位ランダム化要素生成部が生成した第1下位ランダム化要素 $k^*_{L+1, r_a n, j'}$ 及び第2下位ランダム化要素 $k^*_{L+1, r_a n, (t, i)}$ と、前記下位委譲要素生成部が生成した下位委譲要素 $k^*_{L+1, d_e l, (t, i)}$ とを含む下位の復号鍵 $s k_{L+1}$ を下位の委譲装置へ送信する

ことを特徴とする請求項6に記載の暗号処理システム。

【数8】

$$\begin{aligned}
k_{L+1,\text{ran},j'}^* &:= \sum_{j=1}^{2L+1} \alpha_{\text{ran},j',j} k_{L,\text{ran},j}^* \\
&+ \sigma_{\text{ran},j'} (\sum_{i=1}^{n_{L+1}} v_{L+1,i} k_{L,\text{del},(L+1,i)}^*) \\
&+ \sum_{i=1}^{w_t} \eta_{\text{ran},j',(0,i)} b_{0,1+u_0+1+i}^* \\
&+ \sum_{t=1}^{L+1} \sum_{i=1}^{w_t} \eta_{\text{ran},j',(t,i)} b_{t,n_t+u_t+i}^*
\end{aligned}$$

【数9】

$$\begin{aligned}
k_{L+1,\text{ran},(\tau,i)}^* &:= \sum_{j=1}^{2L+1} \alpha_{\text{ran},(\tau,i),j} k_{L,\text{ran},j}^* \\
&+ \sigma_{\text{ran},(\tau,i)} (\sum_{i=1}^{n_{L+1}} v_{L+1,i} k_{L,\text{del},(L+1,i)}^*) \\
&+ \phi_{\text{ran},(\tau,i)} k_{L,\text{ran},(\tau,i)}^* + \sum_{i=1}^{w_t} \eta_{\text{ran},(\tau,i),(0,i)} b_{0,1+u_0+1+i}^* \\
&+ \sum_{t=1}^{L+1} \sum_{i=1}^{w_t} \eta_{\text{ran},(\tau,i),(t,i)} b_{t,n_t+u_t+i}^* \\
&+ \sum_{i=1}^{w_\tau} \eta_{\text{ran},(\tau,i),(\tau,i)} b_{\tau,n_\tau+u_\tau+i}^*
\end{aligned}$$

【数10】

$$\begin{aligned}
k_{L+1,\text{del},(\tau,i)}^* &:= \sum_{j=1}^{2L+1} \alpha_{\text{del},(\tau,i),j} k_{L,\text{ran},j}^* \\
&+ \sigma_{\text{del},(\tau,i)} (\sum_{i=1}^{n_{L+1}} v_{L+1,i} k_{L,\text{del},(L+1,i)}^*) + \psi' k_{L,\text{del},(\tau,i)}^* \\
&+ \phi_{\text{del},(\tau,i)} k_{L,\text{ran},(\tau,i)}^* + \sum_{i=1}^{w_t} \eta_{\text{del},(\tau,i),(0,i)} b_{0,1+u_0+1+i}^* \\
&+ \sum_{t=1}^{L+1} \sum_{i=1}^{w_t} \eta_{\text{del},(\tau,i),(t,i)} b_{t,n_t+u_t+i}^* \\
&+ \sum_{i=1}^{w_\tau} \eta_{\text{del},(\tau,i),(\tau,i)} b_{\tau,n_\tau+u_\tau+i}^*
\end{aligned}$$

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

前記暗号処理システムは、
少なくとも基底ベクトル $b_{0,i}$ ($i = 1, \dots, 1 + n_0, 1 + n_0 + 1, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0, \dots, 1 + n_0 + 1 + u_0 + w_0, \dots, 1 + n_0 + 1 + u$)

$0 + w_0 + z_0$) (n_0, u_0, w_0, z_0 は 1 以上の整数) を有する基底 B_0 と、
 少なくとも基底ベクトル $b_{0,i}^*$ ($i = 1, \dots, 1+n_0, 1+n_0+1, \dots, 1+n_0+1+u_0+w_0+z_0$) (n_0, u_0, w_0, z_0 は 1 以上の整数) を有する基底 B_0^* と、
 少なくとも基底ベクトル $b_{t,i}$ ($i = 1, \dots, n_t, \dots, n_t+u_t, \dots, n_t+u_t+w_t, \dots, n_t+u_t+w_t+z_t$) (u_t, w_t, z_t は 1 以上の整数) を有する基底 B_t ($t = 1, \dots, L+1$) と、
 少なくとも基底ベクトル $b_{t,i}^*$ ($i = 1, \dots, n_t, \dots, n_t+u_t, \dots, n_t+u_t+w_t, \dots, n_t+u_t+w_t+z_t$) を有する基底 B_t^* ($t = 1, \dots, L+1$) と

を用いて暗号処理を行い、

前記復号要素生成部は、 $t = 0, \dots, L$ の各整数 t についての乱数 $d_{dec,t}$
 $\vdash := (d_{dec,t}, i)$ ($i = 1, \dots, w_t$) に基づき、数 1 2 に示す復号要素 $k_{L,d_{dec}}$ を生成し、

前記暗号化データ c_1 生成部は、 $t = 0, \dots, L$ の各整数 t についての乱数 t
 $\vdash := (t, i)$ ($i = 1, \dots, z_t$) に基づき、数 1 3 に示す暗号化データ c_1 を生成する

ことを特徴とする請求項 9 に記載の暗号処理システム。

【数 1 2】

$$k_{L,dec}^* := ((-s_{dec,0}, 0^{u_0}, 1, \vec{\eta}_{dec,0}, 0^{z_0})_{\mathbb{B}_0^*}, \\ \left\{ \begin{array}{ll} (s_{dec,t} \vec{e}_{t,1} + \theta_{dec,t}, \vec{v}_t, 0^{u_t}, \vec{\eta}_{dec,t}, 0^{z_t})_{\mathbb{B}_t^*}, & \text{if } \rho_t = 0 \\ (s_{dec,t} \vec{v}_t, 0^{u_t}, \vec{\eta}_{dec,t}, 0^{z_t})_{\mathbb{B}_t^*}, & \text{if } \rho_t = 1 \end{array} \right.) : t = 1, \dots, L)$$

【数 1 3】

$$c_1 := ((\omega, 0^{u_0}, \zeta, 0^{w_0}, \vec{\phi}_0)_{\mathbb{B}_0}, (\omega \vec{x}_t, 0^{u_t}, 0^{w_t}, \vec{\phi}_t)_{\mathbb{B}_t} : t = 1, \dots, L)$$

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

$t = 1, \dots, L$ (L は 1 以上の整数) の各整数 t についての基底 B_t と基底 B_t^* とを用いて暗号処理を行う暗号処理システムにおいて、暗号化データ c_1 を復号鍵 s_k_L により復号する復号装置であり、

属性情報 $x_t := (x_{t,i})$ ($i = 1, \dots, n_t$) と、所定の値 $,$ とを用いて、基底 B_0 の基底ベクトル $b_{0,p}$ (p は所定の値) の係数として前記 $$ を設定し、基底 B_0 の基底ベクトル $b_{0,q}$ (q は所定の値) の係数として前記 $$ を設定し、少なくとも一部の整数 t についての基底 B_t の基底ベクトル $b_{t,i}$ ($i = 1, \dots, n_t$) の係数として $x_{t,i}$ ($i = 1, \dots, n_t$) を設定した暗号化データ c_1 を暗号化装置から受信するデータ受信部と、

述語情報 $v_t := (v_{t,i}) (i = 1, \dots, n_t)$ と、所定の値 $t = 1, \dots, L$ の各整数 t についての所定の値 $s_{dec,t}$ と、 $s_{dec,0} = t = 1$ であるような $t = 0, \dots, L$ の各整数 t についての所定の値 $s_{dec,t}$ を用いて、基底 B^*_0 の基底ベクトル $b^*_{0,p}$ (p は所定の値) の係数として $s_{dec,0}$ を設定し、基底 B^*_0 の基底ベクトル $b^*_{0,q}$ (q は所定の値) の係数として前記 $s_{dec,t}$ を設定し、 $t = 1, \dots, L$ の各整数 t についての基底 B^*_t の基底ベクトル $b^*_{t,i}$ ($i = 1, \dots, n_t$) の係数として $s_{dec,t} e_{t,1 + dec,t} v_{t,i}$ ($i = 1, \dots, n_t$) を設定した復号要素 $k^*_{L,dec}$ を含む復号鍵 s_{k_L} を鍵生成装置から取得する復号鍵取得部と、

前記データ受信部が受信した暗号化データ c_1 と、前記復号鍵取得部が取得した前記復号鍵 s_{k_L} に含まれる復号要素 $k^*_{L,dec}$ について、ペアリング演算 $e(c_1, k^*_{L,dec})$ を行い、前記暗号化データ c_1 を復号するペアリング演算部とを備えることを特徴とする復号装置。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項18】

$t = 1, \dots, L + 1$ (L は1以上の整数) の各整数 t についての基底 B_t と基底 B^*_t を用いて暗号処理を実行する暗号処理プログラムであり、

$t = 1, \dots, L$ のうち少なくとも一部の整数 t についての基底 B_t の基底ベクトルに属性情報 x_t を埋め込んだベクトルを暗号化データ c_t として生成する暗号化処理と、

$t = 1, \dots, L$ の各整数 t についての基底 B^*_t の基底ベクトルに述語情報 v_t を埋め込んだベクトルを復号鍵 s_{k_L} として、前記暗号化処理で生成した暗号化データ c_t と前記復号鍵 s_{k_L} について、ペアリング演算を行い前記暗号化データ c_t を復号する復号処理と、

基底 B^*_{L+1} の基底ベクトルに述語情報を埋め込んだベクトル v_{L+1} と、前記復号処理で使用した復号鍵 s_{k_L} とに基づき、前記復号鍵 s_{k_L} の下位の復号鍵 $s_{k_{L+1}}$ を生成する鍵委譲処理とを備えることを特徴とする暗号処理プログラム。